第 11 回（令和 5 年度第 4 回）タウンミーティングの概要

１　団体名　　小島校区連絡会
　　代表者　　会長　小林義一

２　開催日等
（１）開催日　令和 6 年 1 月 20 日（土）
（２）会　場　小島公民館
（３）テーマ　小島地区内環境整備について
　　高齢者の移動手段の確保について
　　空き家対策について

３　意見交換の概要
※　［　　］内はミーティング終了後、所管課で補足したものです。

市民　小島の土地改良事業が終了して、地区内の道路整備を推進する環境が整ってきたことから、自治会では、道路整備を進めています。

そこで、まず一点目ですが平成 29 年度、30 年度と、道路整備の要望書を提出しＢランクという通知を受けています。6 年ぐらい経過しましたが、実施まで何年くらいかかりますか。

また、要望書を提出してから実施まで平均何年くらいかかるのか伺います。

市長　道路整備工事がなかなか進まないという話は聞いていますので、これに対する予算は前年度に対して増やしています。

ご指摘の要望箇所は、幅員 4 メートルでの側溝整備と、幅員 5 メートルに拡幅する道路改良ですが、道路用地の寄附や買収については地権者の同意をいただいています。

要望書をいただいていますが、土地の承諾書がそろわないと要件が整いませんので、地域のお力添えもいただいて動くことになろうかと思います。

市民　裏の道路については、隣接する人に来てもらって説明して、最終的にハンコをもらって提出した結果、Ｂ評価を得られたのです。それ以降の問題として考えるのか、それともまた 1 から出直すのでしょうか。

建設部長　要望を受けてから平均して 10 年ぐらいかかっています。工事の前に測量を行います。その際連絡して同意についても確認しながら進めていきます。5 メートル以上に広げる場合は拡幅用地を買収しますが、4 メートル未満については寄付していただきます。

市民　地権者の同意など、着工までにすべきことについて市から連絡はないのですか。私は話を受け継いではいないのです。

建設部長　できれば市役所 5 階の道路課、維持課で聞いていただければ確認させていただきます。

市民　毎年 1 件ぐらいは、道路整備の申請に行きますのでその都度聞くようにします。

市民　小島では堤防沿いの道路に側溝が整備されていないため、堤防からの水が宅地内に入ってきています。早めに側溝設置をお願いしたいのですが、流す側溝がないので要望書の道路整備を早めに実施するようお願いします。

市長　すでに 5、6 年経っているというお話ですので、必要なものを確認して、お越しいただくのではなく、こちらから必要なものを一度提示させていただきます。その上でスピードアップできる環境を作れたらと思います。

市民　小島地区も高齢者が多くなっています。コロナの予防接種のときも予約時間に子どもに頼んだり、近所の方にお願いしています。

　市として高齢者対策として何らかの交通手段を考えていますか。

市長　ゆうゆうバスがありますが、カバーしきれないエリアもあります。デマンドタクシーを検討したことはあったのですが、コロナ禍でタクシー運転手が減少し、その要望に応える余裕がタクシー業界になくなりつつあります。

　対策として一つは、今年の 3 月からコミュニティポイントを始めます。お手伝いが必要な方がしてくださった方にポイントを差し上げて、手伝っていただくシステムを作ろうと思っています。

　二つ目は、今話題になっているライドシェアです。個人の所有車で時間に余裕がある場合などに、助け合って乗せていただき、それに応じたものをちゃんとお支払いするというシステムが、今後具体的になってくると思います。

（企画課）ライドシェアについては、国の動向を注視し、導入に向け検討を行っていきます。

市民　以前、循環バスは走行距離がある程度決まっていて、小島まで回そうとすると市内を循環する回数が減るということを言われました。

　高齢者はワクチン接種が必要ですし、特に後期高齢者は病院通いが多いですから、毎日でなくても、週に 2、3 回でも、1 日に午前中に 1 回だけでもだいぶ違うと思いますが、そういう特別なことはできないのでしょうか。

市長　ゆうゆうバスは停留所の設置要望が多くありますが、停留所を増やすと目的地までの時間がかかるようになり、結果的に利用者が減るということもあります。やはり目的地にいかに早く着けるかだと思っています。

　今度、太田小学校、男沼小学校、妻沼南小学校が統合されます。引き続き小島地区からも子どもたちを車で送迎します。これからの話し合いですが、もし

ニーズがあるのであれば、その車を何らかの形で使うことも可能かもしれません。ただ、昨年、成田小と星宮小の合併のときに、スクールバスを入れて、昼間は地域の方に使っていただくことにしましたが、1日1人くらいしか乗ってくれません。年間の維持費だけでもかなりの額になります。

であるならば、地域の皆さん方の助け合いを支援する方が予算は安くなりますし、スピードアップもできます。循環バス以外にシェアする方法を考えることも必要だろうと思います。バスは意外に乗ってもらえないのです。

（企画課） 星宮地区の循環バスを運行するためにスクールバスに追加で発生する費用は年間約 500 万円となっています。費用対効果を検証しながら、より効果的な施策を検討したいと考えています。

市民　太田市では時間の予約をするとワゴン車を配車してくれます。約 700 箇所の停留所があり、片道 200 円で北はみどり市の東邦病院、西は伊勢崎市の鶴谷病院まで行きますので参考にしてください。一日も早く個人所有の車をタクシー代わりに利用できるようにお願いします。

市長　太田市に負けないように頑張りたいと思います。調べてみて、またそこのところは、後でお返事もさせていただきたいと思います。

（企画課） 個人所有の車をタクシー代わりに利用する、いわゆるライドシェアについては、タクシー会社の管理の下、運行するなど、今後国が制度設計していくと伺っています。効果的な施策が実施できるよう、引き続き情報収集に努めてまいります。

市民　小島地区も人口減少、高齢化がかなり進み、空き家も増えてくることが予想されます。

市としても、所有者に対していろいろな情報提供や取組等を行っていると思います。そういう中から、3点について質問させていただきます。

一つ目、熊谷市の65歳以上の人口、また小島の65歳以上の人口は何人いますか、また、市全体の空き家は何世帯ぐらいありますか。

市長　令和5年1月1日現在の熊谷市の人口は19万3,132人で、そのうち妻沼小島地区は329人です。そのうち65歳以上の人口が、熊谷市全体で5万8,289人。妻沼小島地区は160人です。

空き家については、令和4年度の調査で市全体が2,178戸で、妻沼小島地区も含めた男沼地区で30戸です。

市民　2点目は、こさ切や除草についてです。

小島地区では 5 月頃に回覧板を回してこさ切や除草を行っています。空き家の所有者には、伸びて道路に覆いかぶさる頃に自治会長が連絡しています。

市として、所有者に対して管理の徹底を通知することはできませんか。

市長　空き家の樹木等の管理ということですが、そういった連絡をいただくと、所有者を調べてその状況と管理をお願いする通知を送っています。

　中には音信不通で、皆さんにご迷惑をかけることもありますが、市に連絡いただきたいと思います。

市民　3 点目ですが、市はですね、空き家対策調査を実施し空き家がどれくらいあるのか把握していると思います。緊急の場合に、自治会でも対応ができない場合に、市として何らかの対応はできませんか。

市長　空き家の所有者に対して、通知と併せて専門家による窓口相談を案内するなどしています。

市民　小島小学校は休校後、公民館事業で使っていた体育館、特活室、料理教室、校庭を無償で使用し、公民館、校区連絡会を中心に、校庭の除草、樹木の剪定、殺虫剤の散布、体育館の清掃を行っています。

　統廃合後も今までと同様な扱いでお願いできないでしょうか。

市長　廃校後の手続きは、1 番目、市役所内において、利活用の意向調査を行い、行政目的、役所の利用ニーズによって利活用を検討する。2 番目、行政目的による利活用が見込めない場合は、民間事業者等による利活用も再度検討する。3 番目、上記と並行して地域の代表者から成る跡地利活用検討委員会を設置、地域の意向も把握という項目があります。地域の皆さん方の意向をしっかり汲み取りながら、使い方を検討したいと思います。

市民　小島としてはそういう考え方を持っているということだけ承知していただければありがたいです。

（**教育総務課**）小島小学校は、現在休校中ですが、廃校時期については未定です。
休校中の期間は、現在と同様の取扱いを継続する予定です。

市民　私のうちに孫がいて、今年男沼小学校に上がりました。毎日車で送迎していただいていますが、子どもたちを本当に安全に送り届けてくれています。

　子どもたちは男沼小学校で、みんなと学んだことをずっと忘れないと思います。小島の子どもたち 1 人 1 人を大事にしていただいていることに感謝を申し上げます。引き続き子どもたちを大事にしていただきたいと思います。

市長　男沼の皆さんとの一体感をそのまま継続できるように考えています。

　私からは、男沼小学校の良い校風をしっかりと新しい学校でも引き継げるようにということを伝えることしかできませんが、お子さんたちも小学校に上がると、一定の人数がいた方が、ある種の学びもあろうかなと思います。

市民　土手の方から石田川の方へ向かうメインの道が 3 本。その他が一つ。それから、斜めに走っているこの前の道。それともう一つは高林に繋がる道。この道に、U字側溝が一つもないのです。雨が降ると、土手から来た水、屋敷から来た水が川になって流れる状況です。そこを念頭にU字側溝の設置をお願いしたい。水はけが悪いといくら舗装してもひびが入って割れてしまいます。

雨の時期に現場をよく見てもらいたいと思っています。

また、小島は買い物や病院など生活圏が全部太田です。電気、電話、水道など太田に依存しています。熊谷市に隣接する太田市のいいところを取り入れるなど地域に役立つ交流をしてほしいと思います。

地元進行役　この市道については、要望書も出してありますし、道路課に来てもらって相談しています。ですから所管課と自治会で現場を再確認して方向性を出していただければと思います。

市長　太田市との関係ですが、昔は熊谷の方が元気が良かった。合併が終わって今の状況になりました。熊谷市の人口が流出しているわけではありません。

令和 5 年に熊谷市の出生者が 1,000 人を切りました。亡くなった方が 2,500 人います。自然減が年間 1,500 人です。そういう状況で、なかなか熊谷には、企業も含めて若い方に来ていただける環境がありません。

太田市はスバル、日野など働き場所があります。財政も、熊谷市の令和 5 年度当初予算は約 700 億円でしたが太田市は約 900 億円です。利根川を挟んでも、県が違っても隣です。ラグビーや花火だけでなく太田市と連携することによって小島地区が寂しい思いをしないような努力をしたいと思います。

市民　太田市と交流を深めていくということですが、太田市のバスを一日 1 本でも小島を通るようにすれば、高齢者の交通手段の確保になると思います。

市長　提案として承ります。